

浅口市立金光吉備小学校 令和6年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和6年10月18日公表

全国学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科では、「書くこと」「読むこと」の正答率が高く、心に残ったところを理由をつけてまとめて書くことができる。 ○算数科では「データの活用」の正答率が高く、与えられた情報を基に立式して課題を解くことができる。 ○国語科・算数科ともに無回答率が低く、課題に根気よく一生懸命に取り組むことができる。 <課題> ▲国語科では、言葉の特徴や使い方に関する事項についての理解が不十分な傾向がみられる。 ▲算数科では、小数や分数などの四則計算が不確実だったり、量の大きさの感覚が乏しく、問題場面を読み取って答えの見当を立てて考えることが苦手だったりする。	<成果> ○就寝時刻や朝ごはんや家庭学習への取組等、基本的な生活習慣を身に付けている児童が多い。 ○自分にはよいところがあり、身近な大人が認めてくれていると感じている児童が多い。 ○国語や算数の学習は大切で、将来、社会に出たときに役に立つと考える児童が多い。 ○理科の学習が好きな児童が多い。 <課題> ▲人が困っているとき進んで助けたり、いじめはいけないことだと思ったりすることに対して意識が低い傾向がみられる。 ▲地域や社会のために貢献したい気持ちが低い。

岡山県学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科では、段落の役割について理解し、自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書くことができる。 ○国語科では、言葉の特徴やきまりに関して理解できている。 ○算数科では、「図形」「データの活用」の正答率が高く、図形の面積や角の大きさを求めたり、表やグラフを正しく読み、結論について考察したりすることができる。 <課題> ▲国語科では、説明文を叙述を基に文章の内容を捉えたり、中心となる語を見付けて要約することが苦手である。 ▲算数科では、小数や分数の意味と表し方についての理解が不十分である。	<成果> ○家の人は、じぶんのよいところを認めてくれていると感じている児童が多い。 ○自分が住んでいる地域の行事に参加するなど地域に愛着をもち、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童が多い。 ○学校の授業以外の学習時間が、県の平均より長い。 <課題> ▲自分でやると決めたことを、やり遂げていると実感している児童が少ない。

改 善 策	
学 校 で の 取 組	
① 学習規律の確立 ・話の聞き方・姿勢・机の上の整頓・チャイムの合図を守るなど ② ICTの効果的な活用 ・端末を活用した授業実践・家庭学習での端末の活用・朝の学習での活用 ③ 基礎学力定着のための取組 ・朝の学習の充実・放課後の補充学習・読書のあしあと（必読図書） ・「早ね!早起き!朝ごはん!金光 学力アップ大作戦」 ④ 算数科を研究教科とした「主体的に考え、互いに学び合う児童」の育成 ・課題設定の工夫・考え表現する時間の確保・ペアやグループでの話し合い活動の設定 ・振り返りでの学びの自覚化	
一貫教育 金光学舎 での取組	
○中学校の定期試験期間に合わせて家庭学習強化週間(「家庭学習がんばりカード」)を実施して、学習習慣・読書習慣の確立を図る。 ○生活習慣強化週間「早ね!早起き!朝ごはん!金光 学力アップ大作戦」を行い、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の改善・定着を図る。 ○中学校区学校運営協議会の目指す子ども像「広い視野と思いやりの心をもった、心身共に元気で明るく前向きな子」を設定し、共通理解のもと各教科・領域において連続した取り組みを実践する。 ○「浅口市立小学校・中学校クロームブック学年別スキル表」を活用し、各学年で系統立った指導を行う。	
家庭・地域へのお願い	
○共通の話題について親子で話す時間をもちましょう。お子さんの成長を認め、励ましてください。 ○家庭内での仕事を決め、やり抜く力をつけましょう。できたときには、しっかりほめてあげてください。 ○メディアの活用の仕方について、家庭で話し合ってルールを決めましょう。	